

令和6年12月1日(日)  
大崎タイムス掲載

# 年末年始の労災ゼロを

## 宮城労基協 古川支部 会員集結し安全宣言

年末年始の労働災害  
ゼロに向け、宮城労働  
基準協会古川支部(木  
田秀隆支部長は25日、  
安全宣言をした。同支  
部が入居する大崎建設  
産業会館(大崎市古川  
旭)に会員55社75人が  
集結し、「ゼロ災職場」  
を通して明るい新年を  
迎えることを誓った。

同会7支部では初め  
ての試み。同支部安全  
管理部会の青沼美鶴  
部会長が「誰もが安心  
して働くことができる  
快適な職場づくり、ゼ  
ロ災職場を目指し、笑  
顔で新年を迎えるこ

とを決意し宣言しま  
す」と宣言文を読み上  
げた。

また、来年1月1日  
以降、労働者死傷病報  
告が原則として電子申  
請になることについて  
古川労働基準監督署  
安全衛生課の新野正樹  
課長が説明。「帳簿入  
力支援サービスを活用  
することで作成が容  
易」とし、入力画面の  
入力項目や手順を解説  
した。

同署労災課の正満大  
祐課長は、一次健診で  
異常が認められた場合  
に受けられること

「二次健康診断等給付」  
の制度概要と請求手続  
きを説明した。

囲検査またはBMI測  
定の全4項目で異常の  
所見があると診断され  
た人が対象だが、産業  
医の所見があれば全項  
目に該当しなくても認  
められる。数万円を要  
する血中脂質や血糖  
値、けい部超音波など  
の各検査のほか、特定  
保健指導が実質無償で  
受けられる。



安全宣言をする青沼部会長